

件 名	
下関市立大学、創立以来初の大学発ベンチャー企業を設立 ー 地域課題の解決に挑む「株式会社先端地域科学研究所」を設立 ー	
内 容	
以下のとおり、資本提供締結式を執り行うことといたしました。 ついては、ご多忙のところ大変恐縮ですが、取材にお越しいただきたく宜しく願いいたします。 【会社概要・事業概要】 別添資料をご参照ください。 【資本提供締結式】 〔日 時〕2025年6月11日（水）14時から 〔会 場〕下関市立大学 本館Ⅱ棟5階 大会議室 〔出席者〕株式会社 SE アシスト 代表取締役 村上 晋悟 株式会社ファンクルー 代表取締役 徐 正煥（ソ ジョンファン） 株式会社ゼンリンデータコム 上席執行役員 望月 浩市 株式会社ゼンリンデータコム 経営戦略室 担当部長 大和田 博文 下 関 市 立 大 学 学 長 韓 昌完（ハン チャンワン） ほか 関係者 〔式次第〕 1 学長挨拶 2 資本提供に関する覚書署名 3 投資家代表挨拶 4 記念写真撮影 5 質疑応答	
問い合わせ先・担当者連絡先	
< 事業に関すること >	
下関市立大学 先端地域科学研究所	
担当者（特命助手）	もくだい あらた 目 代 新
連絡先	083-250-6171
sentan@shimonoseki-cu.ac.jp	
< 式典に関すること >	
下関市立大学 総務部	
総務部長	横山 康貴
担当者（総務課長）	原 彰 隆
連絡先	083-252-0288
syomu@shimonoseki-cu.ac.jp	
提出日	2025年5月29日
広報連絡先	Tel. 083-252-0288 syomu@shimonoseki-cu.ac.jp

【報道関係者各位】

下関市立大学 学長 韓 昌完（ハン チャンワン）

下関市立大学、創立以来初の大学発ベンチャー企業を設立 ー 地域課題の解決に挑む「株式会社先端地域科学研究所」を設立 ー

下関市立大学（山口県下関市、学長：韓 昌完）は、このたび創立以来約 70 年の歴史の中で初めて、大学発ベンチャー企業を設立する運びとなりました。本学における研究成果や人的資源を、地域社会の課題解決や新産業の創出に直接結びつけるための新たな取り組みです。

このたび設立するのは、大学ベンチャーキャピタルとしての機能を担う「株式会社先端地域科学研究所」（代表取締役：韓 昌完）。本学内に存在する先端技術や学術研究から生まれた“シーズ（seed）”を地域資源と結び付け、創業支援から経営伴走（ハズオン）に至るまでの包括的なインキュベーションを行います。

本学はこれまでも、地域に根ざした教育・研究を重視してまいりましたが、今後は「知と人材の循環」を地域社会に広げるため、大学が社会課題解決の起点となる役割をさらに強めてまいります。

また、本学の今後の大学発ベンチャー支援体制の中核モデルとしての意義を込め、第 1 号企業の代表には学長自らが就任いたしました。これは、大学として起業支援の覚悟と実行力を明確に示すものであり、学生・教員・地域を巻き込んだ持続的なイノベーションの土壌を育む第一歩です。

今後は、シーズの発掘と起業支援に加え、地域内外の投資家との連携、ジャーナル発行・経営セミナー開催等も展開し、下関市立大学を核とした「知と人の循環」による地域共創を推進してまいります。

【会社の概要】

社名：株式会社先端地域科学研究所

代表取締役：韓昌完

資本金：2,000 万円

主な事業内容：

大学発ベンチャーのインキュベーション事業（創業支援、シードアクセラレーター）

経営セミナー事業

研究ジャーナル事業
シェアードサービス事業
高度人材紹介事業 など。

【記者配布用 Q&A 資料】

Q1. 今回のベンチャー設立の背景は？

A. 本学が持つ研究成果や人材資源を、地域課題の解決や産業振興に還元する「知の循環」モデル構築を目的としています。少子高齢化・人口減少が進む中、大学が果たすべき役割として、実践的な社会貢献を一層強化する必要があると考えました。

Q2. なぜ学長自らが代表を務めるのですか？

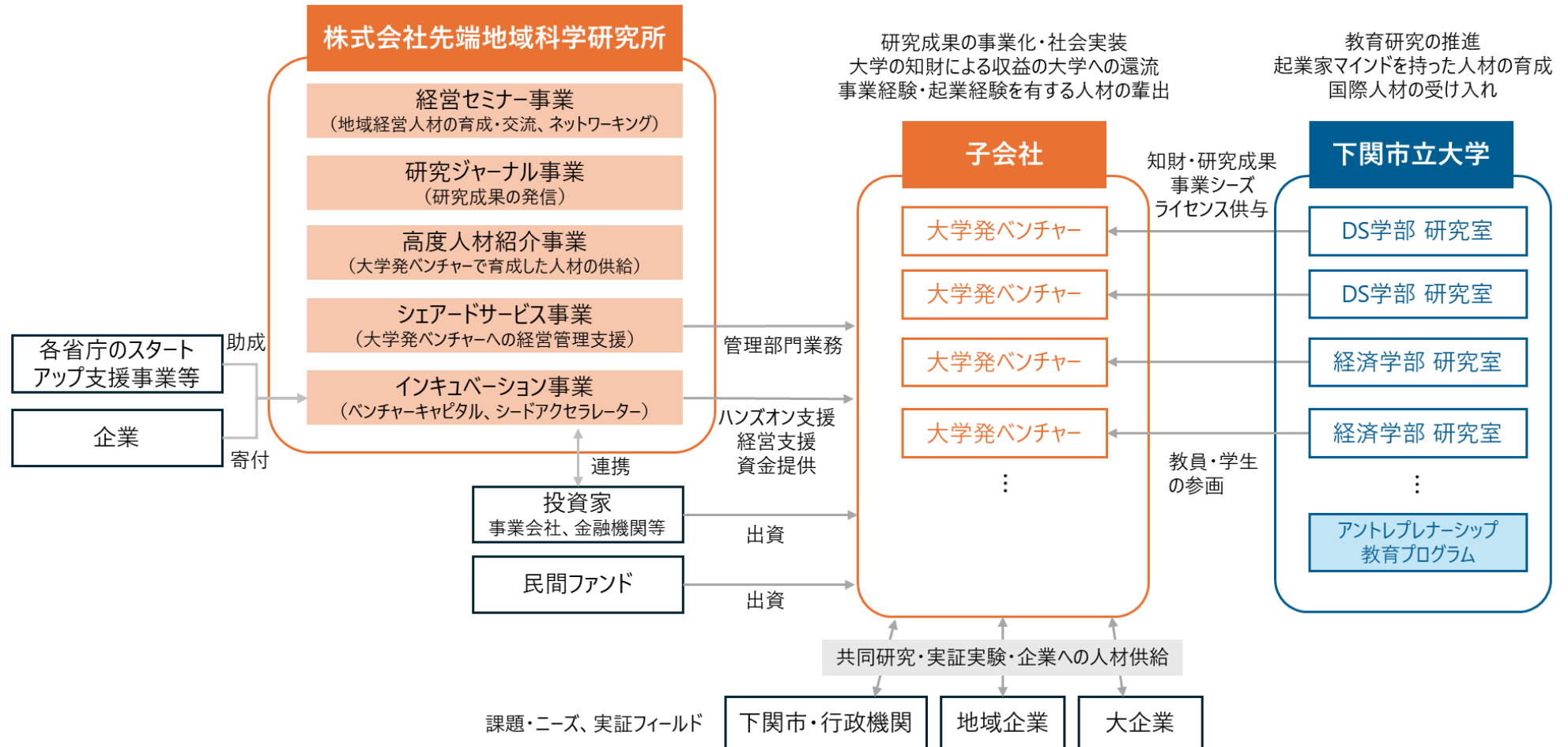
A. 創立以来初の取り組みであることから、大学としての責任と覚悟を明確に示すため、あえて学長が代表取締役役に就任しました。今後のベンチャー支援体制のモデルケースと位置づけています。

Q3. 他大学との違いや優位性は？

A. 本学は地域密着型の教育・研究に強みを持っており、シーズの発掘から事業化、経営支援まで一貫した支援体制を構築できる点に特色があります。また、インキュベーションとハズオン支援を組み合わせる体制は全国的にも先進的です。

先端地域科学研究所の事業モデルのイメージ

地域課題解決に貢献する新規事業・産業創出のエコシステム構築



ベンチャーを起点とした人材発掘・循環システム

